

2014年9月1日

横浜ゴム、Baja 1000 にオリジナル SUV とジオランダーで参戦

横浜ゴム(株)は、11月12日～16日までメキシコのバハ・カリフォルニア半島で開催される「2014 Tecate SCORE Baja 1000」にオリジナル SUV レーシングカーで参戦する。3.7リッター6気筒以下の「クラス SV6」にエントリーしクラス優勝を目指す。米国子会社のヨコハマタイヤコーポレーション(YTC)では、SCOREシリーズに参戦中の米国のトップオフロードレーサーであるキャメロン／ハイジ・スチール夫妻らへのサポートを行っており、「Baja 1000」には継続的に参戦している。日本人ドライバーとしては2010年以来4年ぶりの参戦となる。

今回、ドライバーは同レースに数多く参戦してきた埴郁夫選手を起用し、車両は“次世代のSUVをイメージさせるSUV車輻”をコンセプトに、独自にデザイン、制作したオリジナルマシンにて参戦する。タイヤはSUV用オールラウンドタイヤ「GEOLANDAR A/T-S」を装着する。

「Baja 1000」は米国のオフロードレース主催団体「SCORE インターナショナル」による人気オフロードシリーズ(SCOREシリーズ)の最終戦として毎年11月に開催されている世界最高峰のデザートレース。約1,000マイル(約1,600km)の荒野を不眠不休で走り続けタイムを競うレースで、ドライバーのスキル、体力に加え、マシンとタイヤには高いレベルの操縦安定性、耐久性、走破性などが要求される。



オリジナル SUV

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム(株) 広報部 担当：坂本
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

参戦車両スペック

ドライバー	埜郁夫
車両デザイン	佐藤健一(横浜ゴム株式会社)
参戦クラス(予定)	クラス SV6 (3.7L 6気筒未満のアンリミッド四輪車両)
全長	4,500mm
全幅	2,160mm
全高	1,700mm
重量	1,500kg
フレーム	クロモリパイプフレーム
カウル	FRP製 オリジナルレーシング SUV デザイン
エンジン	V6 DOHC 3500cc
最高出力	約 400ps
トランスミッション	6速 マニュアルミッション
駆動方式	後輪駆動 2WD
フロントサスペンション	ダブルウィッシュボーン (ホイールストローク 600mm)
リアサスペンション	セミトレーリング (ホイールストローク 550mm)
ショックアブソーバー	KING 2.5C/O +KING 3.5 バイパスショック
燃料タンク	FUEL SAFE 250L
タイヤ	GEOLANDAR A/T-S LT315/70R17
ホイール	WORK- BJS Baja仕様(ビートルック付き)8J-17
ブレーキ	4輪ベンチレーテッド+4ポットキャリパー
ブレーキパッド	PROTIX Baja仕様
ランプ	PIAA - LED
オイル	Elf
プロテクション	JAOS

ドライバープロフィール



埜郁夫選手。1960年・茨城県出身。高校3年生の夏にフォーミュラバギーを駆って「全日本オフロードレース選手権」にデビュー。翌年には同選手権のB-1クラスでチャンピオンを獲得。25歳から4輪駆動車のレースにも参戦を開始、初レースで優勝を飾ると抜群の速さでステップアップを続け、日本オフロードレース界ナンバーワンの地域を確立する。1990年代には国内最高峰のオフロードレース「JFWDAチャンピオンシップレースシリーズ」で10年連続チャンピオンを獲得。2001年には公式戦100勝を達成した。活躍の場は日本に留まらず、1991年にはアメリカン・オフロードレースのビッグイベントであるBaja1000に初出場。日本人初完走(5位入賞)を飾ると、2002年にはクラス優勝を達成した。2010年には世界最高峰のヒルクライムレース「パイクスピーク インターナショナルヒルクライム」に電気自動車で挑戦。エキシビジョンクラス優勝と同時に、EV世界新記録樹立の快挙を成し遂げ、2011年には自己記録を大幅に更新し、EVクラスの初代チャンピオンとなる。